

生温い水俣奇病対策

参院 森中、谷口氏ら追及 社労委

十日の参院社会労働委員会期

本県の水俣奇病問題について本県出身の森中、谷口両議員は早急に総合奇病対策をたてることを要望、なまぬるい政府のやり方を鋭く追及した。質問要旨、つぎのとおり。

森中氏 最近の熊日紙は奇病の新患一人が発生したと伝えている。いつばう県令で湾内の漁船を禁止する措置をとつたので漁民の生活は一層深刻化している。厚生省は眞面目にどんな措置をとつてきたか。

米田厚生政務次官 新患の事実

は聞いていない。現患者は六十一人で三十二年以降、新患は出ていないと聞いている。漁業禁止にもなる生活の補償については、差当り生活に困つてゐるものには法にてらした上で、出来るだけの救済措置をとりたい。生活の厚生資金融資については十分の手続きをするよう県を通じて通知しているが、いまのところ希望者がいないようだ。

森中氏 新患について知らなければ県から報告していかないのか、厚

生省が調査していないのかとちら

かだ。熊日紙は社会面のトップに扱つてゐる。脳中毒症という病名が出たことは病名についての最終を意味するか。

森中氏 誤報ではないと思つ。原因が明確でない限り国家として究明するよう努力すべきだ。熊本大学の奇病研究費は窮乏のようだ

が。

米田次官 県がこれまで報告済みの患者を新たに厚生省に報告したことが、新患として扱われたのではないか。病因究明の研究は続ける。

森中氏 誤報ではないと思つ。原因が明確でない限り国家として究明するよう努力すべきだ。熊本大学の奇病研究費は窮乏のようだ

が。

米田次官 法の不備を十分感ずる。たとへば水俣湾内の魚介は販売のためとることはいけませんが、

森中氏 漁業禁止に関連して現行法に不備があると思う。今後、国内のどこかに、かような現象が発生しないとも限らず、これでは社会不安を起す。法定伝染病と同じような措置をとることは出来ないか。

谷口氏 四月ごろ対策を協議したと聞いているが、今後つぎに連絡会議を開いて、解決の方に努力してもらいたい。研究と同時に各省の連絡が重要だ。
(東京支社)

森中氏 二十八年に病気が発生すでに四月には参院で請願が採択されているが、対策は一向に進んでいない。これでは国民に信をどう厚生行政ではない。政務次官の言から政府は立法措置その他責任ある措置を今後早急にやるとのちと解状してよいか。

米田次官 よい。

森中氏 奇病対策について、政府の基本対策がたつていないと思ふ。厚生、文部、農林、大蔵の各省が、もつと連絡をとり総合的な対策の結論を出してもらいたい。

米田次官 出来るだけそのよう